

念写原理応用療法シリーズ 第3巻

精神分析 Ⅱ

心理学遺伝
感応
四つの限界
胎児改悪・自己念写

哲学博士 山本健造 共著
山本貴美子

福来出版

はじめに

第一章 恐るべき心のはたらき

転ばぬ先の杖に 1

◆ 胎児を改悪した恐るべき念写? 2

▼ 足の平が捻れて生まれた子 3

▼ 足が捻れて生まれた男児 4

▼ 内斜視の子が生まれる 5

▼ 赤ちゃんの顔の傷 6

▼ 母体のマイナスの観念が念写 7

◆ 母の激しい苦悩が胎児の脳を冒した? 8

▼ 妊娠中に夫の浮気女も妊娠 8

▼ 愚鈍児の相談に乗る 9

▼ 母親が深刻に悩んで生まれた子はテンカン 11

▼ 不義の子を孕み悩んだ 13

▼ 妊娠中に主人が事故を起こす 13

▼ 妊娠中に気持ちの悪い推理小説をよく読む 14

▼ 精神統一の心理から 17

▼ 妊娠中に他人に同情して泣く 19

▼ 妊娠中に実家の母が首つり自殺 20

▼ 妊娠中は本人もまわりも気をつける 21

◆ 怒り、悲しみは知らぬまの精神統一 22

▼ されど悪事に精神統一はできない 24

▼ 背骨が曲がって柔道ができなくなった息子 25

▼ 自分の家が燃えているのを見て

片目が見えなくなった人 26

◆ 激怒・極度の恐怖の恐ろしい毒 27

▼ けんかの直後 乳を飲ませた赤ん坊死ぬ 27

▼ 恐怖の直後 乳を飲ませた赤ん坊死ぬ 28

▼ けんかしてかみつかれて死んだ男 29
▼ 九州でもあったけんかして

▼ けんかしてかみつかれて
かみつかれて死んだ男 29
一代ヒヨロヒヨロ男

▼ 赤ちゃんの体重だんだん軽くなる 30
30

第二章 マイナスの心の蓄積

◆ 不愉快な心の蓄積 37

▼ 鬱々とした性格 37

◆ 親の冷たいしうち 42

▼ 母の冷たいしうちからテンカン 42

第三章 心の感応

◆ 母の思いが夢に 意識から無意識に感応 55

◆ 後催眠暗示は意識から無意識へ感応 61

◆ 泥棒、金を返す 意識から意識へ

無意識的に感応 61

◆ 無意識から無意識に感応 66

▼ 赤ちゃんのヒフ病 31

◆ 余談ですが 32

▼ 難産のために 32

▼ 重いノイローゼは妊娠中の母体の喫煙？ 34

▼ ドクダミの煎じた茶を妊娠中飲みつづける 35

▼ 母はいつもヒステリックにその子を怒った 49

▼ 父親が舅とけんかし我が子に八つ当たり 52

◆ 無意識から意識に感応 68

◆ 意識から意識や無意識へ感応 霊能誘発 68

◆ 意識から無意識へ迷いの感応 70

▼ 息子のテンカンの原因は心にしみ込んだ

母の悲しみ 74

第四章 心理学遺伝

- ◆ 心理学遺伝 75
- ▼ A家の息子の精神分裂病 75
- ▼ 人間の迷いの毒水 88
- ▼ お父さんはアル中 娘は分裂の心理学遺伝 98

第五章 四つの限界

- 四つの壁がある 125
- ◆ 空間的限界状況 127
 - ▼ 混み合いストレス 127
 - ▼ カルフーンのネズミの実験 128
 - ▼ 狭すぎた家 133
 - ▼ 空間的圧迫による強迫観念 140
- ◆ 時間的・エネルギー的圧迫状況 146
 - ▼ 刻々と迫ってくる借金の利子 146
- ◆ 志向的圧迫状況 147
 - 迷信が病をつくることがある 147

- ◆ 心はマイナスの刺激を受けると構える 114
- ◆ 逆境に打ち勝って進む勇気を持つ 121

- ▼ 御守り様のひもが切れた時 147
- ▼ 宗教と宗教の裂け目と精神分裂病 149
- ▼ 迷信ノイローゼの登校拒否 151
- ▼ 家族の宗教対立から全身うるこ状のヒフ病 157
- ▼ 親子の宗教的思想対立から重いヒフ病 161
- ▼ 修養エリート of 突然死 165
- ◆ エネルギー的圧迫状況 167
 - ▼ 過労からきたヒステリーに似た病 167